



青少対川口HP
<https://seisyotai-kawaguti.org/>

青少対だより

23

2022

発行：八王子市青少年対策川口地区委員会

事務局：川口中学校内

TEL：042-654-2485



一人一人の夢を乗せ
 大空高く舞い上がれ！

川口小学校創立150周年記念

「風船とぼし」

令和4年6月14日(火)



ごあいさつ

「青少対だより」発行にあたり

会長・佐藤 幸雄

地域の皆様には、日頃より青少年対策川口地区委員会にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、「青少対だより」も今回の発行で第23号となりました。前回の第22号発行日は令和2年3月でした。その後、新型コロナ感染の影響を受けほぼ全ての活動が実施出来なくなり、それに併せるように「青少対だより」発行も停止させて頂きました。

発行日停止から2年半年経た今も当新型コロナ感染は止むこともなく続いており今回の発行も見送ることを考えておりましたが、実活動なくとも「青少対だより」として側面から情報提供等出来るのではと本部役員一同の意見により、今回の発行となりました。

した。

ご覧のように、各校長先生の寄稿や児童館長さんの寄稿を掲載させて頂きましたのもその一環です。

以上のことを踏まえて頂きご多忙の中恐縮ですが、当「青少対だより」を一読して頂ければ幸いに存じます。これからも青少対一同、未来を担う子どもたちのために全力で、地域活動に取り組んで参りたいと思います。引き続き皆様のご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

八王子市スローガン

八王子市青少年健全育成基本方針

家庭・学校・地域の連携のもと健全な

「はちおうじっ子」を育てよう

八王子市青少年健全育成基本方針

令和4年度(2022年度)重点目標

みんなでつないでいこう 思いやりの心



地域に愛される学校を 目指して

八王子北高等学校校長 渡邊 幸盛

令和4年4月1日付で東京都立
八王子北高等学校に着任した渡邊

幸盛です。

令和22年（2040）までに自治体の半数が消滅の危機にさらされる、と言われています。日本の高齢化・少子化は、大きな課題であり、ここ八王子においても例外ではありません。自治体を活性化するためには、地域の『若い力』が必要です。

本校は、令和4年度より、新学習指導要領がスタートし、「地域探究推進校」の指定を受け、これまでの地域に根ざした学校づくりをさらに深化させ、地域の信頼を踏まえながら、変革する未来にたくましく生き抜く“人財”を輩出する学校でありたいと思います。

今後とも地域の皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



先人木を植え、 後人その下で憩う

川口中学校校長 鷲尾 仁

「先人木を植え、後人その下で憩う」という言葉があります。

現代の暮らしはいろいろな制度やサービスに支えられています。それぞれは、元をたどれば、先人たちが長い年月をかけて整備してきたもので、一朝一夕にできたものは、何一つありません。そして、私たちの社会生活が滞ることなく過ごせるのは、仕事や奉仕などによってそれぞれの持ち場で社会を支えている多くの人たちがいるからです。

今の川口中学校も、青少対の方々など多くの先人たちの苦労や献身によって支えられてきました。同じ時代に生きる人とのつながりを「横のつながり」とすると、過去に生きた人たちのつながりは「縦のつながり」ということができます。さまざまな「つながり」を感じ、その支えに感謝することを忘れず、子どもたちの未来につなげていきたいと思います。



はじめまして

美山小学校校長 加藤 毅

4月に美山小学校校長に着任しました加藤毅です。3月までは調布市の小学校に勤務しておりました。周囲を学校の校舎よりも背の高い集合住宅に囲まれた学校でした。美山小に異動し、毎日、緑の豊かさを満喫しております。

日頃より美山小学校の児童が大変お世話になっております。青少対の皆様におかれましては、コロナ禍で思うように活動できず、もどかしい思いをされていることと思いますが、子供たちの育成に協力していただければと思っております。八王子市に勤務するのは初めてで地域のことなど分からないことばかりですが、よろしくお願いいたします。



初心に戻る

上川口小学校校長 市川 利幸

令和4年4月1日付で、八王子市立上川口小学校に昇任……という内示を頂いた日、すぐに学校ホームページを検索してみました。そこには、全校児童数39人と記されていました。

25年前の4月1日、私の初任校は、北海道最北の村にある全校児童数45人の小さな学校でした。「地域の中で愛される学校」とは何か、厳しくも豊かな自然環境の中で学んだことを鮮明に思い出します。あの初任の日から25年……。校長として着任した学校は、あの初任校と同じような児童規模、同じような自然の豊かさと地域の人々の温かさを感じる素敵な学校でした。これは、「初心に戻り丁寧に学べ」と暗示を受けたように感じました。

上川口小学校がずっと愛されるよう、全力を尽くします。どうぞ、よろしくお願いいたします。



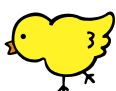
開校150周年を迎えた 川口小学校に着任

川口小学校校長 石川 真一

八王子市立松木小学校から校長に昇任し、川口小学校に着任しました石川です。2年前まで松枝小学校の副校長として3年間勤務し、家内の両親も川口町に住んでいるため、ふるさとに戻って来られたと大変嬉しく思っています。保護者・地域の方々とかかわりを深め、教えていただきながら協力体制を構築し、皆様から信頼される川口小学校を創っていきたいです。特に道德教育に重点を置き、心の教育を充実させ、「やさしさいっぱい、夢いっぱいの学校」にしていきます。

本校は今年度、開校150周年を迎えました。地域の方々が大切にしてきた歴史と伝統ある川口小学校を更によくしていけるよう職員と協力して取り組んで参ります。

結びに、青少対の活動は、学校では取り組めない貴重な体験や人とのつながりがもてる場であると捉えています。私も積極的に参加し、地域の方々とはふれあいながら何でも相談できる校長でありたいです。これからもよろしくお願いいたします。



地域の安全安心を 担う駐在所

上川口駐在所 円藤 芳秋



上川口駐在所に移動になってから、4年が過ぎました。これまでにいろんな事案が発生し、熊の出没では地域の人たちの協力で、子どもたちが安全に登下校できるよう見守っていただき、ありがとうございました。これからも、地域の人たちが安心して暮らせるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



わが故郷 川口

松枝小学校校長 佐藤 浩

私は、市内の大和田町で生まれ、小学校入学と同時に川口町に引っ越してきた。今から約55年前のことである。当時は本当に田舎で、秋川街道がジャリ道だったのを覚えている。入学した川口小学校も木造2階建てで、門の近くに小さなプールがあった。今の校舎は、3年生か4年生の時に完成した記憶があるが、当時は松枝小学校もなく、植原交差点近くの子供たちはみんな川口小学校まで通っていた。小学校の頃の思い出といえば、八王子カントリークラブの雑木林でクワガタやカブト虫を夢中で捕まえたこと、川口川で一日中魚を取ったこと、夏は浅川で毎日泳いだことである。私が育った故郷川口で、教員生活の最後を校長として迎えていることに、嬉しさと共に何か不思議な縁を感じる。



「地域の宝」 — 川口児童館

川口児童館館長 井垣 利朗



児童館は、18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行っています。

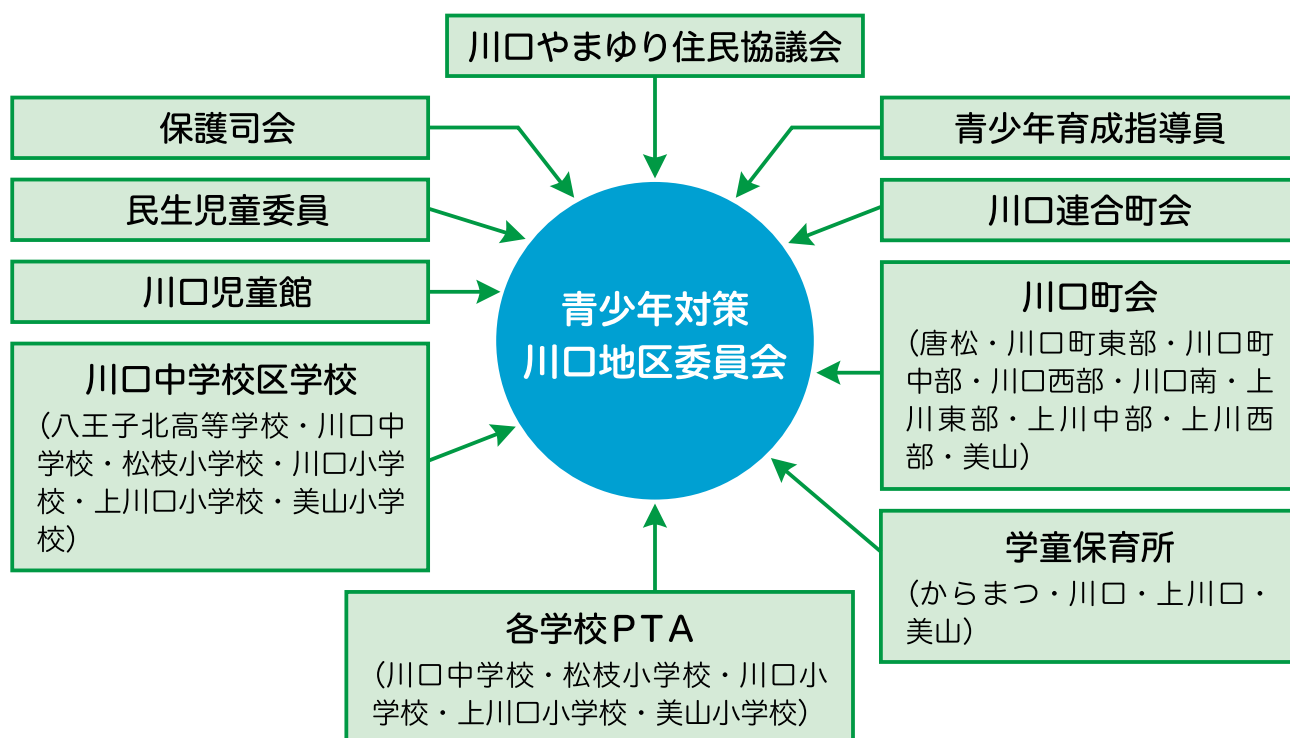
子どもの居場所として、子どもの意見を尊重し、子どもたちが安心してくつろぎ、様々な遊びやプログラムを体験できるように工夫しています。

川口児童館では、運動遊びを多くとり入れ、心と体の発達と異年齢の交流を図っています。

地域の皆様、元気な子どもたちと川口児童館を「地域の宝」として温かく見守ってください。

よろしくお願いいたします。

青少年対策川口地区委員会・構成



会議風景

「青少対」って何？

各地域の実情に応じて、家庭・地域・学校が一体となった活動を行い、青少年をめぐる社会環境の浄化や青少年の健全育成を進める団体です。

また、以下のような活動を行っています。

- ①社会環境の浄化を行うための活動
- ②健全育成のための活動
- ③青少年の社会参加・社会貢献活動等

役員紹介

会 長：佐藤 幸雄

副会長：内藤 妙美

会 計：森 永子・前川 千鶴

事務局：渡部 裕一・平尾 孝史・箱崎 裕・椎木千佐子

今年度役員です。よろしくお願いいたします。

今後の予定

◎子どもを主体とした活動

10月7日（金） あいさつ運動 全学校区

11月5日（土） やまゆり館まつり「わいわいランド」 全学校区

12月3日（土） 地域清掃 川口中学校

※めだかの学校（各学区ごとの行事）は新型コロナウイルス感染防止策により今年度も現時点では予定なし

◎他 本部・育成指導員での活動

○日中・夜間パトロールの実施

必要に応じ実施後学校側&駐在所さんと情報交換

○ホームページによる公開（常時）

○「青少対だより」の発行（9月・3月予定）

